

平安時代

陰陽道史

研究

山下克明著

▼A5判・四五〇頁／定価：本体 八、五〇〇円(税別)

ISBN978-4-7842-1780-9

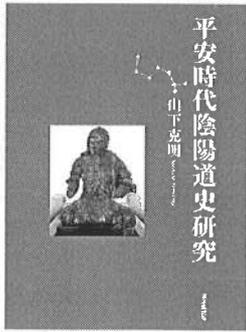
【二〇一五年一月刊行予定】

陰陽道の日本の特質とはなにか？

その成立・展開期である平安時代を中心に、
仏教・神祇信仰と並ぶ宗教としての陰陽道の
あり方、陰陽師たちの天文観測技術や呪術・
祭祀など活動の実態とその浸透、彼らの信仰
などをさまざまな角度から明らかにする。

また、中国から伝来し陰陽道の背景となった
諸典籍、その展開のなかで陰陽師たちが著し
伝えた主な関連史料を、
解説を付しながら幅広く
紹介。

陰陽師が残した日記であ
る『承久三年具注暦』の
翻刻を収める。



○ 内容目次 ○

序章 陰陽道の特質と関係典籍 陰陽師の機能／陰陽寮の職務と陰陽道の成立／陰陽道の宗教的性格／陰陽道の基本文献

第一部 陰陽道の成立とその展開

第一章 陰陽道の成立と儒教的理念の衰退 陰陽師の職務／陰陽道の成立と怪異／文章博士たちの分裂

第二章 陰陽道の宗教的特質 陰陽道祭祀の特質／陰陽師の性格

第三章 陰陽道信仰の諸相—中世初期の貴族官人・都市民・陰陽師— 貴族官人社会における陰陽道祭祀の浸透／都市民と陰陽師、大將軍信仰／陰陽師たちの信仰

第四章 密教修法と陰陽道 密教星宿法の成立／尊星王法の成立と園城寺／院政と密教修法

第五章 院政期の大將軍信仰と大將軍堂 摂関貴族と大將軍信仰／『東山往来』にみる大將軍信仰／大將軍信仰と大將軍堂

第二部 安倍晴明と天文家安倍氏

第一章 安倍晴明の邸宅とその伝説 晴明の邸宅に関する諸説／長承元年の晴明領地争論／晴明邸宅地の推定／泰親と土御門の地

第二章 安倍晴明の「土御門の家」と晴明伝承 陰陽師晴明の評価／晴明の「土御門の家」／「土御門の家」の継承者／もう一つの晴明伝承

第三章 天文道と天文家安倍氏 天文道の職掌／天文異変の基準「犯」と観測方法／天文家安倍氏の記録と家書／観測技能・精度の問題

第三部 陰陽道と文献史料

第一章 陰陽道関連史料の伝存状況 陰陽寮のテキストと滋岳川人の著作／日時・方角関係／五行説・占術関係／祭祀関係／暦道関係／天文道関係／日記・文書・系図／賀茂・安倍両氏が伝え、失った史料

第二章 『承久三年具注暦』の考察 諸本について／天理本の日次記について／付、『承久三年具注暦』日次記の翻刻

第三章 『大唐陰陽書』の考察—日本の伝本を中心として— 『大唐陰陽書』の伝来／暦注と『大唐陰陽書』／諸本とその伝来／延慶元年の中間朔旦冬至

第四章 宣明暦について—『高麗史』暦志と日本の伝本— 日本の伝本について／伝本の性格／伝本と歴家賀茂氏

付 論 平安時代初期の政治課題と漢籍—三伝・三史・『劉子』の利用— 大学寮と紀伝道の形成／平安初期の政治と漢籍の引用／嵯峨・醍醐の旧臣」と読書

やました・かつあき：一九五二年、千葉県生。青山学院大学大学院文学研究科博士課程単位取得退学。博士(歴史学)。現在、大東文化大学東洋研究所兼任研究員・公益財団法人無窮会東洋文化研究所特別研究員。著書に、『平安時代の宗教文化と陰陽道』(岩田書院、一九九六年)、『陰陽道の発見』(日本放送出版協会、二〇一〇年)。

思文閣出版

〒605-0089 京都市東山区元町355 tel.075-751-1781 fax.075-752-0723
http://www.shibunkaku.co.jp E-mail:pub@shibunkaku.co.jp

注文票		発行：思文閣出版		(京都 取引コード 3402)	
冊数	冊	平安時代陰陽道史研究	本体8,500円(税別)	ISBN978-4-7842-1780-9	
お名前		tel			
		e-mail			
ご住所	〒		書店番線印		
送本方法	<input type="checkbox"/> 書店経由 (このちらしを書店にお渡し下さい) <input type="checkbox"/> 代 引(書籍代+送料を現品と引き替えにお支払い)				

本書HPのQRコード

書店番線印

増補 陰陽道の神々

斎藤英喜著

佛教大学鷹陵文化叢書17

コロンビア大学での発表をもとにした論考“牛頭天王の変貌と「いざなぎ流」”を収録して増補再版。疫神や式神、泰山府君、牛頭天王、八王子、金神、盤牛王、そして式王子、呪祖神たち……。彼らは近代社会が封印し、消去した「陰陽道」の神々である。本書は、知られざる陰陽道の神々の来歴と素顔を平易に説く。

▶A5判・356頁／本体2,300円(税別)

ISBN978-4-7842-1644-4

怨霊・怪異・伊勢神宮

山田雄司著

古代・中世社会で大きな意味をもち、社会の底流で歴史を動かしてきた怨霊・怪異。早良親王・菅原道真・崇徳院などの怨霊や、様々に記録・伝承される怪異など、その諸相を歴史的に跡づける。さらには親鸞や伊勢神宮といった、神と仏をめぐる領域をも射程に入れて集大成する。

▶A5判・448頁／本体7,000円(税別)

ISBN978-4-7842-1747-2

散所・声聞師・舞々の研究

世界人権問題研究センター編

散所の人々が携わった芸能あるいは陰陽道などのかかわりを含めて、文献・絵画・地図の綿密な分析をこころみ、洛中・山城国・近江国における実態を浮きぼりにする。共同研究のまとめとしての座談会のほか、研究ツールとしての年表・文献目録・基本史料を収録、古代・中世社会の研究にとって欠くことのできない基本文献。

▶A5判・590頁／本体8,200円(税別)

ISBN4-7842-1219-1

※王権と神祇

今谷明編

実証的研究の蓄積が少ない天皇制や大嘗祭、また権門体制論・顕密体制論によって規制されがちな中世神祇史について、実態面の研究を積み重ね、さらに中世日本紀や神道書の考証も重ね合わせることで、王権と宗教に関する新たな見取り図を描き出すことを目指した意欲的な論集。

▶A5判・348頁／本体6,500円(税別)

ISBN4-7842-1110-1

祭礼と芸能の文化史

園田稔・福田敏男編

神社史料研究会叢書Ⅲ

神社・神道研究のみならず、地域史・政治史・社会経済史・文化史、さらに文学・芸能・音楽・民俗ほか幅広い分野の研究に資するという視点で神社史料の有効活用・研究の深化普及を目的として結成された神社史料研究会の研究結果から、神社を祭場・舞台として繰り広げられる祭礼と芸能を特集。

▶A5判・300頁／本体6,500円(税別)

ISBN4-7842-1159-4

『親信卿記』の研究

佐藤宗諄先生退官記念論文集刊行会編

蔵人の年中行事に関わる一級史料『親信卿記』から四方拝・供立春水など80項目余の記事を抽出・分離し、他本との校訂や内容の研究にとりくんだ一書。関係補論6篇のほか古代史の個別論考4篇も収録。

▶A5判・598頁／本体9,800円(税別)

ISBN4-7842-1252-3

権者の化現 天神・空也・法然

今堀太逸著

佛教大学鷹陵文化叢書15

日本国の災害と道真の霊・六波羅蜜寺の信仰と空也・浄土宗の布教と法然伝の3部構成で、仏・菩薩が衆生を救うためにこの世に現れた仮の姿について明かす。【内容】日本太政成徳天と道賢／醍醐天皇不遇と清涼殿霹靂／六波羅蜜寺と道俗貴賤／空也の生涯と活動／女人教化譚の成立／老病と臨終の絵解き—東国布教と女性 他

▶A5判・312頁／本体2,300円(税別)

ISBN4-7842-1321-X

口頭伝承と文字文化 文字の民俗学 声の歴史学

笹原亮二編

民俗学における文献史料の扱いについては様々に議論がなされ、「口頭伝承を重視する民俗学、文献を重視する歴史学」という固定観念は崩れつつあるものの、明確な方法論は未だ打ち出されていない。フィールドワークによる生の資料と、文字で伝えられた資料両者の扱いにたに着目し、新たな研究方法について論じた意欲作。

▶A5判・444頁／本体7,000円(税別)

ISBN978-4-7842-1447-1

今昔物語集の人々 平安京篇

中村修也著

虚実ないまぜ話柄の豊富な説話文学の古典から平安京という都市で生きる人々—商人・検非違使・怪盗・陰陽師・絵師たち—のさまざまな姿を活写。【内容】都人の楽しみは神社詣で／不思議な力の商人たち／窃盗団の跋扈する都／平安京の冥界と盡力／都に生まれた芸術家／昔も変わらぬ食生活

▶A5判・220頁／本体2,300円(税別)

ISBN4-7842-1213-2

※中世日本の政治と文化

森茂暁著

思文閣史学叢書

鎌倉時代から室町時代にかけて、現存している古文書や、政治と深く関わった宗教者から、「中世日本」とはどのような時代だったのかをひもとき、さらに『増鏡』や『太平記』、『博多日記』という記録史料など、文芸作品からのアプローチをも試みる。中世の政治と文化を総合的に明らかにした論考15篇を収録。

▶A5判・480頁／本体9,000円(税別)

ISBN4-7842-1324-4

※日本近世の宗教と社会

菅野洋介著

奥州と関東を主に、戦国期以降の仏教・神道・修験道・陰陽道等と地域社会とのかかわりを、東照宮や寛永寺を中心とした幕府権威をも視野にいれて考察。本所権威の在地社会への浸透、在地社会における諸宗教の共存と対抗、民衆宗教の展開とそれを規定する社会情勢、そして在地寺院など宗教施設の「場」としてのあり方を追求する。

▶A5判・380頁／本体7,800円(税別)

ISBN978-4-7842-1572-0

公家と武家Ⅲ 王権と儀礼の比較文明史的考察

笠谷和比古編

【内容】後七日御修法から見た国家と宗教／撰関期の天皇の葬送の実態／日本婚姻史の一視角—撰関家の特異性を考える／室町の十字架—足利義嗣と一休宗純／禁裏と二条城をめぐる政治史的表象—近世の国制と天皇／近世民衆、天皇即位の礼拝見／武家の釈奠をめぐる一徳川時代の孔子祭礼／孝明天皇の死因について—毒殺か病死か 他

▶A5判・458頁／本体7,800円(税別)

ISBN4-7842-1322-8

大阪天満宮史の研究 第二集

大阪天満宮史料室編

【内容】大阪天満宮と大將軍信仰—星辰信仰と痘瘡神／天神信仰と鶏と鳳凰／大阪天満宮内鎮宅符社史序説／連歌と大阪天満宮の連歌所／天満郷の形成と町割りの変遷／大阪天満宮の境内地・社地における旧大名屋敷について／大阪天満宮の祭礼と戎島行宮／大阪天満宮社内芝居沿革序説／大塩の乱と大阪天満宮／川口居留地と梅本町御旅所

▶A5判・240頁／本体5,800円(税別)

ISBN4-7842-0796-1

京都文化の伝播と地域社会

源城政好著

思文閣史学叢書

京都とその近郊の中世文化史に取り組んできた著者が、今までの成果をまとめた一書。在地(莊園)をめぐる動向、公武の文芸交流と伝播、さらに河原者・声聞師の被差別民衆の諸相と室町・戦国期の人物論を収めた。

▶A5判・400頁／本体7,800円(税別)

ISBN4-7842-1325-2

※平安時代の古記録と貴族文化

山中裕著

思文閣史学叢書

古記録・儀式書・かなの日記・歴史物語等の根本史料を基に、撰関政治の本質および年中行事を主とする平安貴族文化の実態を説かんとするものである。第1篇では藤原師輔と源高明をとりあげ、第2篇では御堂関白記を中心に道長の政治を論じ、また史実と歴史物語の関係を検討し、第3・4篇で、平安時代の有職故実を解明する。

▶A5判・510頁／本体8,800円(税別)

ISBN4-7842-0857-7

栄花物語・大鏡の研究

山中裕著

従来国文学の分野でとりあげられ、歴史学の方面からの研究は少ない状態である『栄花物語』。そこに内包される歴史書としての特徴を考究し、かつ『大鏡』の歴史的意義についても論究。従来からの歴史物語という分野に収まりきれない可能性を提示する。

▶A5判・404頁／本体7,200円(税別)

ISBN978-4-7842-1640-6

インタビュー・エッセイや新刊情報を掲載した広報誌『鴨東通信』を年4回無料でお送りしています。

電話・fax・Eメールでお申し込み下さい。※印の書籍は外函・カバーに汚れ・傷みがございます。